



おおの  
**大野**

ひろし  
**寛**

しんわかい  
**津和会**

### (仮称) 森林環境税への対応を

**問** (仮称) 森林環境税が平成36年度より導入される方針となったが、これによると津市の平成29年度の林業振興費の予算とほぼ同額の2.5億円が譲与される見込みである。

この(仮称)森林環境税を上手に使い、増加する事業量に対応していくためには、早急に庁内の体制強化や計画の整備等が必要になると考えるがどうか。

**答** 現在作成中の林地台帳が平成29年度末には整備できる予定であるため、この林地台帳を活用し、間伐施業地の選定や事前調査として境界の明確化、作業地の路網計画など効率的な森林整備が実施できるよう、今後示される(仮称)森林環境税の具体的な制度設計や森林法の改正等の状況を注視し、準備を進めていく。

さらに、体制については、今後想定される事業量、作業量等を的確に判断し、速やかに対応できるよう検討を進めていく。



### ●その他の質疑・質問●

○津市バイオマス産業都市構想の現状と総合計画におけるバイオマスエネルギーの導入推進の考え方について

○津市こども園構想について

- こども園の全体構想について
- 運営に関する実施要綱、要領について
- 幼児教育の実施内容について
- 保育教諭の育成について



▲森林整備のために体制強化を



はせがわ  
**長谷川**

ただし  
**正**

しみんこえたいせつかい  
**市民の声を大切にする会**

### コミュニティバスの地域間格差をなくせ

**問** 平成29年9月25日から高齢者外出支援事業が始まった。久居、河芸、芸濃、美里、安濃、一志、白山、美杉の8地域で運行されている市のコミュニティバスは、シルバーエミカの提示により、無料で何度でも乗り降りができる。香良洲・津地域では運行されていないため、香良洲から津駅までの往復で980円が必要となる。この地域間格差をなくすべきと考えるがどうか。

**答** 今回の運賃無料化については、シルバーエミカを活用し、高齢者の方の買い物や通院など、日常生活の助けとなり、さらに外出しやすくすることで、健康の維持や介護予防につながるものと見込んで実施した。

一方、コミュニティバスを運行していない地域の方にとって、不公平な制度とならないよう、民間路線バスを使った支援策も併せて実施し、高齢者1人2,000円を上限として、毎年ポイントを付与することで、持続可能な制度として構築した。

なお、コミュニティバスは、路線バスが廃止されているなど交通が不便な地域を中心に、ほとんどのルートで週4日程度の運行となっており、市の中心部へは、民間の路線バスや鉄道を乗り継いでいる状況である。

### ●その他の質疑・質問●

○香良洲橋の架け替えの1日でも早い完成を

○石山観音の石仏を活用した芸濃地域への観光誘客について

○1万体のかかしを設置して美杉地域への観光誘客を

○ソーラーパネルの設置について県都津市独自の規制を

○臨時職員および再任用職員の処遇改善について



▲香良洲・津地域では運行されていないコミュニティバス